



みさと

No.50
2017. 4

美郷町議会だより



満開の沢谷三里桜街道

第1回定例会報告	P 2 ~ 3
29年度一般会計予算 注目事業ピックアップ	P 4 ~ 5
予算決算特別委員会 予算のココを聞く?	P 6 ~ 7
一般質問 -11人登壇-	P 9 ~19
美郷町の農業サポート経営体って? ...	P20
第1回臨時会報告	P21

委員会室	P22
梶谷団地現地ルポ リースハウス整備状況報告	P23
続 手前味噌ですが…	P24
議会Q&A	P24
住民の声	P25
議員ひとり歩記	P26
編集後記	P26

平成29年度予算 一般会計 64億6,800万円

出産・子育て・教育へ

みんなが

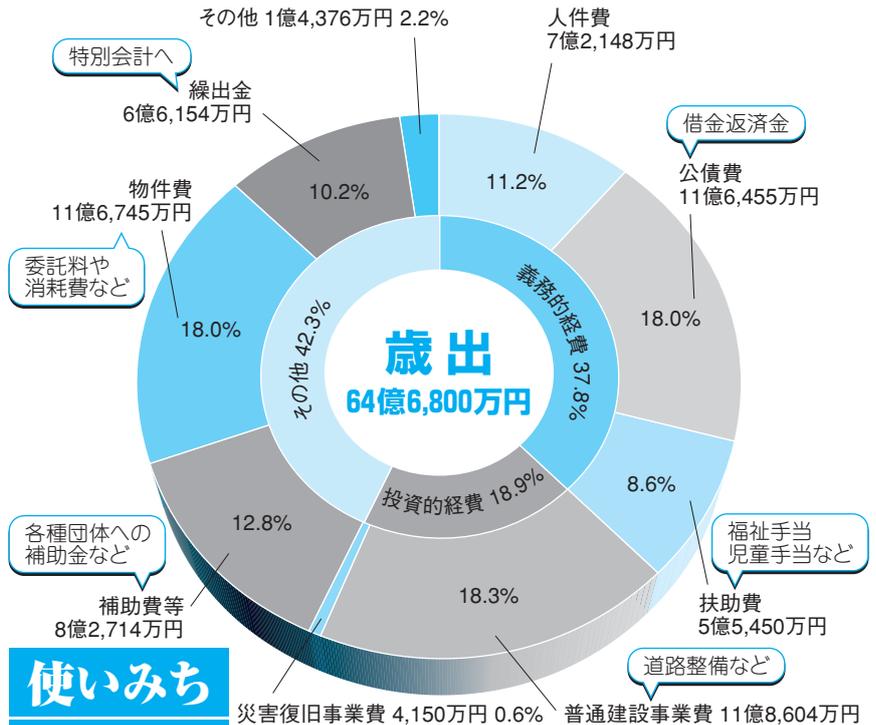
前年度より地方
交付税を1億円減額と見
込み、財政調整基金1億5500
万円、減債基金3200万円を取り
崩しての厳しい予算編成
だなあ…

議長のつぶやき

平成29年度 会計別当初予算

会計名	金額
一般会計	64億6,800万円
住宅新築資金 等貸付事業	155万円
簡易水道事業	3億 695万円
特別会 計	
下水道事業	2億6,119万円
君谷診療所	528万円
国民健康保険	8億1,927万円
国民健康保険 診療所	7,883万円
後期高齢者医 療	1億9,317万円
合計	81億3,427万円

※端数切捨のため表示に誤差があります。



使いみち

産業建設関係では▽戸谷、
村之郷1への農業用リースハウ
ス(計24棟)の整備など農山村
プロジェクト交付金事業2億8



返還を要しない給付型の奨学金

一般会計の主な事業として、
総務関係では▽「大和荘」の建
替え建設事業(基本詳細設計
など) 4100万円▽給付型
の奨学金基金繰出事業3千万
を計上。

予算案



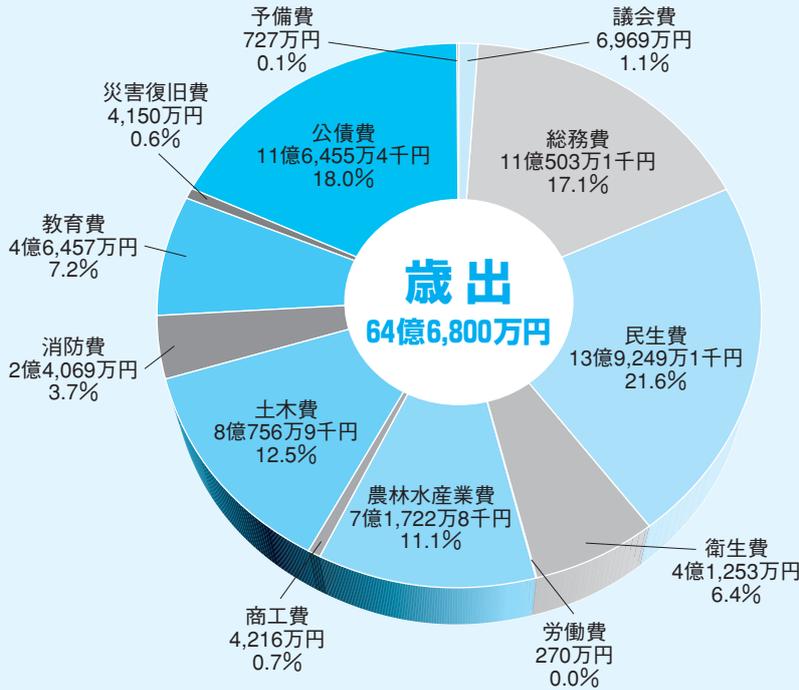
ICT支援員も配置されます

教育民生関係では▽小学3
年生にタブレットを配備を盛り
込んだ小中学校ICT教育推
進事業費1030万円などを計
上。



町道14路線の道路改良
が計画されました

目的別経費表示



注目事業

ピックアップ

目的経費から
事業を選んでみました

土木費

道路整備関連

4億7,003万円

町内14路線の道路改良整備。

若定住宅建設



7,210万円

都賀本郷3区画、九日市5区画の建設用地造成。

農業支援組織

8,800万円

担い手がない地域の営農を広域的に支援していく農業支援組織（サポート経営体）の設立等。



農林水産事業費



リースハウス建設

2億884万円

リースハウスを整備し、農業生産拡大と担い手育成・確保を図るため、栢谷地域へ16棟、村之郷1へ8棟の建設。

～私のひとこと～

「リースハウス団地の完成が楽しみ」



栢谷地域
梅田 信雄 さん

近辺には、大規模な農畜産団地や林業事業所もあり、地域の農林業生産額が増えることが期待され、完成が楽しみです。

総務費



大和荘建設 4,100万円

老朽化した大和荘建設に係る設計等の委託費。

定住奨学金

3,000万円

修学（高校以上）に係る給付型奨学金制度。

区分	給付額（月額）
高校又は同程度の学校奨学生	30,000円
短大・専門学校等	40,000円
大学	50,000円
大学院	50,000円

教育費



ICT教育

1,030万円

小学3年生を対象としたタブレット端末の新規整備。

商工費

プレミアム商品券

1,300万円

町内消費喚起のため20%のプレミアム補助。



民生費

子ども医療費



1,263万円

誕生から中学卒業までにかかる医療費を全額助成することにより、保護者の経済的軽減を図り、健全な育成及び子どもを生み育てる環境作りを推進。

～私のひとこと～

「子育て環境が定住の決め手でした」

子育て専念中は収入が限られているので、支出の心配なく健康＆学びの環境を過ごせるのは本当に助かります。

地域の方々に暖かく見守られ、お陰様で元気いっぱい育ってます。



吾郷地区
パノヴァ 由起子 さん



子育て支援

1,327万円

町長報酬削減分の財源等を活用し、子育て支援センターの業務運営委託・在宅育児手当の支給、遊び憩いの場の運営等を行う。

ココを聞く？

チェック
29予算

可決すべきものと全会一致で決定

防災士

Q 防災士予算は3人分計上されているが、現在何人受講し活動しているのか。

A 現在、粕瀨、吾郷、沢谷、潮地域で4名の方が活躍している。

Q 防災士のいない連合自治会へ派遣は出来ないのか。

A また、郵政職員で資格を持っている方の活用は出来ないか。

A 防災士の派遣は出来ない。郵政職員の方はおられることは知っているが人数までは確認していない。

Q 消防職員で退職時に司令補以上ならば、申請すれば資格が取れるが、経費が掛かるので補助できないか。

A 消防職員の方については申請に必要な経費は補助出来るので、紹介していただきたい。

Q みさと市管理運営委託料が減額になった理由は。

A 経営計画に基づき決定、損益額が約450万程度とみている。

Q みさと市のトレーサビリティ（生産履歴）の取り組みは。

A 農産物販売者の最低限の義務だと思っている。時代は変わってきている。切り替えが必要。

Q 売れている情報とその生産者にわかるシステム開発が必要か。

A そういうシステムがある。産直市は町の看板として支援していきたい。



みさと市

子育て支援

Q 町長報酬削減分の財源等を活用した、「みさと子育て応援」事業とは。

A ① 在宅児の家庭を対象に12回のカフェセット（1000円程度）券及び、温泉利用券を配布する計画。

カフェセット券はグリーンピア及び大和庄・グリーンロード大和で使用可能。温泉利用券はグリーンピア及び大和庄で使用可能。ペビーチエア、おふろチエアなどの備品を用意する。

② 「美郷町の子どもたちや住民を元気に笑顔にする活動」の公募を行う助成する。

1件（1団体）あたりの上限額50万円、総額150万円を想定し、6月頃から実施の予定。

Q 木質バイオマスガス発電の設置場所と住民周知は。

A 現在の候補地は粕瀨・内田・惣森の3地域。熱利用調査等による、業者の場所判断と、林業振興を含め、住民周知は、4月以降に自治会長会議や広報により行う。

Q 今後、職員のドット研修を生かすには、プロジェクトを立ち上げ知識を共有できるようにすべきでは。

A ある程度の期間、同一な人材での連携が必要と考え貴重な意見として賜る。



バイオマス発電



予算の

委員会は原案どおり

泥かぶら

Q

美郷町出身者が主演する新制作座の「泥かぶら」の講演が決定しているが、いつごろに何回公演を予定しているのか。

A

文部科学省推奨の大変よい作品であり、主演の女優は吾郷の出身の方なので、子どもたちのふるさと教育、人材育成という面からも効果はあると考える。11月ごろに2回の講演を予定している。



Q

三江線が来年3月に廃止になるが、最後のサヨナライベントなどの経費は計上していないが、計画は考えないのか。

A

さよならイベント的な経費は計上していない。中身を含めて単独でやるのか共同でやるのか、これから検討して計上したい。



三江線

教育

Q

中学校関連の補助金で部活動の助成とあるが、部活動の遠征費等は自治会が協力している。これを補うものか。

A

部活後援会は地域の方々へ寄附をいただき、練習試合等に係る経費を支弁しているが、地域からの寄付は取りやめることにした。町の子育て支援策として中学校に一人当たり5000円の補助金と保護者の会費により支援する方向にした。



部活動後援会

Q

個人で浄化槽を設置しているが、これを町施設に移行できるのか。

A

個人設置でも経年劣化で壊れた場合、申請により町村設置型への移行は加入金25万円の負担で可能である。



浄化槽

11人登壇 一般質問

質問の内容

- 1 簗根 正一 議員 9P
①高齢者への交通支援について
②空き家を賃貸住宅に
- 2 山本 貢 議員 10P
①美郷町の学校教育について
- 3 山本 幹雄 議員 11P
①「みさとアプリ」の活用について
②「みさと子育て支援事業」の取り組みについて
③上下水道の今後の経営見直しは
- 4 藤原 修治 議員 12P
①農地を維持管理する「農業サポート経営体」の運営方針は
②林業再生に向けて「木質バイオマス発電企業」誘致の現状は
- 5 栗原 進 議員 13P
①三江線沿線市町神楽大会の開催を
②三江線廃止後、跡地の利用は
- 6 波多野 康博 議員 14P
①空き家対策について
②浜原大橋から下流亀村までの道路改良について
- 7 福島 教次郎 議員 15P
①農業改革の方向性は
- 8 岩根 和博 議員 16P
①町民の老後対策は
- 9 黒川 民次郎 議員 17P
①新年度予算編成について
- 10 安田 勝司 議員 18P
①子育て支援について
②公共交通網の充実について
- 11 佐竹 一夫 議員 19P
①防災士の服装について
②若者定住住宅を含む住宅政策
③子供たちが考えた美郷町の未来は

記事の内容

質問した議員が要約・整理したものを掲載しています。

一般質問が2日間の開催!...
活発でいいね!

● 議長のつぶやき

	三江線沿線地域公共交通活性化協議会 (法定協議会)	三江線代替交通確保調整協議会 (地元協議会)
4月		4月～6月 ・代替交通に係る運行主体の調整 ・代替交通に係る運行計画案の調整
5月	○第4回協議会 ・網形成計画の骨子 (案)	↓ 臨時幹事会を開催
6月		
7月	○第5回協議会 ・網形成計画の骨子 (案) ・パブリックコメント	7月～9月 ○協議会 ・代替交通に係る運行主体の選定 ・代替交通に係る運行計画案の最終決定
8月		
9月	○第6回協議会 ・網形成計画の承認 ・再編実施計画の概要	

■ JR三江線について
今後のスケジュール

行政報告



神戸川の来島ダムの水を分水し、発電する潮発電所

■ 神戸川分水の水利権の更新
3月10日に鳥根県、出雲市、飯南町と美郷町、中国電力は、中国電力の水利権の期間を、平成39年3月とする新たな確認書を締結した。

補正予算の状況

(単位：千円)

	会計名	補正額	補正後の額
	一般会計	-174,415	6,404,453
特別会計	住宅新築資金等貸付	0	2,359
	簡易水道事業	-80,278	311,602
	下水道事業	-3,229	262,141
	君谷診療所	-392	4,870
	国民健康保険	502	800,295
	国民健康保険診療所	-4,593	85,592
	後期高齢者医療	-1,538	186,692
	合計	-263,943	8,057,968

追加議案 補正予算案

■ 平成28年度一般会計補正予算外7件の特別会計補正
決算見込みによる補正が主なもの。

区分	請願・陳情の内容	提出者	審査した経過と結果
陳情	長藤原地区の急傾斜地崩壊防止対策事業の陳情	原自治会長 中原康隆 長藤連合自治会 難波豊典	採択
陳情	長藤原地区の土石流発生危険個所対策事業実施の陳情	原自治会長 中原康隆 長藤連合自治会 難波豊典	採択

請願・陳情

※議案の賛否 提出された全議案は全員賛成につき、議員別の賛否表は掲載しません。

プレミアム乗車券で 高齢者の免許証返納に支援を

480人が75歳以上、検討したい



旗根 正一 議員



まだまだお世話になります

問

全国で高齢者ドライバーによる交通事故が多発している。

70歳以上の高齢者ドライバーが、運転免許証を自主返納した場合、バス・タクシーの利用券などを無料で交付する支援事業をしているところがある。

これは公共交通の利用促進と交通事故防止につながると思うが、町長の考えを伺う。

町長 高齢者の免許自主返納への特典、支援を行っているのは、県内で6市1町である。

実施する市が多く町が少ない理由は、市は公共交通が充実しており、また、歩く範囲で生活品の購入がしやすいが、町村では、生活における車の重要度が高いということだと思う。

美郷町では、高齢者の交通支援策として、運賃無料のらくら

くバスの運行と、バス運賃助成を行っている。

新たに事業として29年度から、高齢者の免許の自主返納に対する支援を行うこととした。

詳細は他事例を比較検討し、公共交通の利用を支援、促進するものとした。

問

高齢者の交通支援として、プレミアム敬老乗車券というような、特典付きの乗車券を発行してはどうか。

住宅セーフティネットで空き家対策を 現在271戸の公営住宅、対応できる

問

全国で空き家が増え続けてきている。

お年寄りや子育て世帯向けに、賃貸住宅として空き家を登録する制度の創設を盛り込んだ「住宅セーフティネット法」の改正案が閣議決定された。

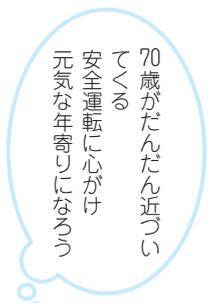
国は早期に取り組みたいとしている。

この制度についてどのように考えているか伺う。

町長 国土交通省の「住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の

総務課長

美郷町で、運転免許証を保有者数は約3100人で、75歳以上が480人である。今年度、自主返納者数を10名程度を予定して、1人当たり2万円の予算額を計上している。プレミアム乗車券は検討したい。



議員のつぶやき

※住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の都道府県への登録、改修費用や家賃への助成、指定された居住支援法人などによる入居支援などが事業メニューである。

低所得者向けに、収入に応じた家賃設定を行い提供している。

現在、271戸の公営住宅の内、21戸が空き室のため、必要な戸数を検討するべき時だと感じている。

この制度は、都市部での効果は期待されるが、町が事業主体となつて空き家の改修等をするものではないため、具体的な検討はすすめていない。

住宅確保要配慮者へは、現状の公営住宅により対応できると考える。

総務課長 空き家調査を実施したが空き家は約600戸あり、住宅の全体の戸数約2500戸の2割程度が空き家の状況となっている。

※住宅確保要配慮者とは、高齢者、子育て世帯、低所得者、障がい者、被災者など住宅の確保に、特に配慮を要する者とされている。



山本 貢 議員

受験戦争を知らない子供たちへの勉強のススメは

生きる力を育てること

問

昔は、受験という勉強をする動機があったが、現在は子供たちから「なぜ勉強しなければならぬのか」と問われた時、学校ではどのように指導しているか。

教育長

幸せに生きるために必要なことを自ら考え、自ら行動する力を「生きる力」という。変化の激しいこれからの社会を生きるため、確かな学力、豊かな人間性、健康体力の知・徳・体をバランスよく育てることが求められている。学校では、生きる力を育てるため、夢や希望に向かって主体的に学ぼうとする人を育てるためと内容を学年に応じて答えている。

問

強い精神力(忍耐力・競争力等)をつけるために学校ではどのような指導をしているのか。

教育長

全教育活動を通じて、指導していく内容になる。体育の授業、各種検定試験、地域での体験活動や職場体験学習等のキャリア教育。校外宿泊体験学習や三瓶宿泊研修など困難に立ち向かおうとする力を育てている。

問

また、学校生活では、日々の清掃活動、当番活動等、勤務奉仕に関する活動、さらに課外の活動の中学校の部活動、小学校の放課後のスポーツ活動も積極的にやっている。

教育長

現在の地域の支援は、地域のひと、もの、ことを学ぶことで、ふるさとへの愛情をはぐくむとともに、地域課題を考え、地域に貢献しようとする意欲を喚起する機会になっている。今後は、学校支援コーディネーターを中心に、ふるさと教育の見直しと合せて地域の支援

問

学校教育への地域支援のこれからの期待についてどのように考えるか。

教育長

現在の地域の支援は、地域のひと、もの、ことを学ぶことで、ふるさとへの愛情をはぐくむとともに、地域課題を考え、地域に貢献しようとする意欲を喚起する機会になっている。今後は、学校支援コーディネーターを中心に、ふるさと教育の見直しと合せて地域の支援



ふるさと教育の1コマ

問

を、組織的、継続的なものにする。さらに学校への支援を通じて、地域がより元気になるような好循環の取り組みにつなげてい。

教育長

美郷町では、スマホ・ケイタイ・ゲーム三つの約束がIP放送で流れているが、これは学校より家庭での指導が重要ではないか。

教育長

三つの約束は教育委員会で作り、PTA、校長先生に依頼して周知している。

さらに進めて「ノーメディアデー」ということで、その日はネットやゲーム、テレビも控えるようにすることをし、子供たちを健全な方向に持っていく。

子ども達の学力は

基礎基本はOK
応用に課題

問

美郷町の子供たちの学力はどんな状態か。弱点強化のために取られている対策はどのようなことか。

教育課長

全国と県の学力調査の結果を見ると、学年によってばらつきはあるが、平均正答

率は、全国・県と比べ少し低い結果となっている。全般的に言えることは、文章を読み取ったり、基本的な計算をしたりする基礎基本の部分は力がついてきているが、複数の資料を読み取って自分の考えをまとめて表現したり、自分の考えを他人にわかりやすく表現したりする思考力、表現力の部分に課題があると分析している。

本町では、2年前からタブレット端末等のICTを導入し、普段の授業の中で積極的に話し合い活動を行うなどの言語活動の充実に向け取り組んでいる。これも本町の児童生徒の実態に沿った学力向上の取り組みだ。

意見 最期に、美郷町で育った子供たちがふるさとに帰って頑張ってくれることを期待しながら、一方では世界をまたにかけ広く日本のために活躍してくれるのもいいと思う。

少しでも学校への関心が高くなれば…

議員のつぶやき



山本 幹雄 議員

みさとアプリは便利なツール、充実を！

魅力ある情報発信に努める

問 施政方針では、みさとアプリで生活に有益な情報の提供に努めるとしている。

これは便利なツールであるが、イベント情報は少ない。情報をアップする基準などがあるのか伺う。

町長 今まで以上に内外への美郷町の施策や取り組み、地域の伝承文化、各種イベントなど、魅力ある情報発信に取り組み、心をかけていきたい。

企画財政課長 みさとアプリは、平成28年4月から運用開始し、ごみの日のカレンダーとイベント情報など6つの項目で発



便利なツールみさとアプリ

信している。

発信の基準は現在検討しているが、IP告知放送の内容をイベント情報として流したい。

みさと子育て応援事業は どんな取り組み 子供や住民を元気にする活動に助成する

問 新規の取り組みとして、みさと子育て応援事業により、町ぐるみで子育て世代の応援、よりよい子育て環境づくりに、活動費の助成をするとしているが、どのような活動を公募し助成するのか、具体的な内容について尋ねる。

町長 美郷町の子供たちや、

住民を元気に笑顔にする活動を公募し、活動に掛かる経費を助成する。4種類の事業を想定し、対象は、町内に在住する4名以上で活動する団体で、助成金額は1団体あたり50万円を上限としている。

健康福祉課長 子ども子育て支援事業は、妊婦さんの交流・

サロンとか地域の交流活動等が想定される。出産育児等、親子の健康づくり支援事業は、体に優しいおやつづくりなどのサロン活動。多世代交流事業高齢者等との子育て支援事業は、伝統的な地域に残したいもの子ども達に伝える、神楽とか伝統行事

過疎化が進むと 料金の値上げしかないのか

水道事業の事務の広域的な統合を検討

問 急激な過疎化が進む中で、一番重要なインフラである上下水道の営業継続は厳しい状況になっていくと思う。

水道事業は施設の老朽化と人口減少が進み、収入が激減し、施設の維持管理は大変な状況になるが、継続するために、どのような対策が必要か、その見通しを尋ねる。

町長 美郷町の人口は毎年減少しており、上下水道の使用料も比例して減少している。

上下水道の財源は、使用料収入と一般会計からの繰入金で運営している。使用料収入が減少すれば、繰入金が増え、一般会

計への負担は増大する。歳出の削減と、使用料の改定などにより料金収入の拡大も考えている。

問 対策は水道料金の値上げということだが、他に方法は無いのか。

建設課長 島根県では広域的な統合が検討されている。ハード的な統合は難しいが経営面、維持管理は可能だ。

1m³の水が177円。これは高いの？安いの？将来はもっと高くなりますよ

議員のつぶやき



藤原 修治 議員

サポート経営体に期待することは 広がる耕作放棄地の解消にある

※業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に企画を提案してもらい優れた提案を選定すること

問

町の農地の維持管理は、高齢化や担い手不足により、耕作放棄地の拡大や農業生産額の減少が問題となっている。解決の糸口として、町全域をカバーする「農業サポート経営体」を設立し、農地を維持管理する方針が示され、予算を新年度に計上された。

これまで設立された集落営農組合の状況と、新たな農業支援組織に期待される、役割や運営方針を伺う。

町長 現在、17組織の集落営農組合がある。農地167ヘクタール、農家戸数は321戸あり、担い手が減少し、一部の農地維持を放棄しなければならぬ状況もあると聞いている。

サポート経営体に期待されることは、集落営農のない地域の農地維持、町内に広がる耕作放棄地の解消であり、中山間直接支払い制度の事務受託や申請事務支援、葉草の郷の産地化にも協力していきたい。

地域の営農のあり方や、構想づくりにもサポート経営体加わり、地域に則した営農形態構築に貢献したい。



農家からの作業受託や、利用権設定による農業、葉草栽培も行われる

また、経営健全化も求めていく必要がある。閑散期における生活支援事業を探り、町内全域にわたって、担い手不在の解消を行っていく。

設立の趣旨から、非効率な運営を余儀なくされることも想定をされ、法人自体の公益的機能のバランスを保つため、必要な支援をする。

問

これまで設立された集落営農組織に対し、どのように指導をしていく考えか。

産業振興課長

集落営農組織は法人化が望ましいが、移行には非常にハードルが高い。

町内の集落営農組織の連絡協議会を作り、情報を共有していくということが必要なので29年度には設立したい。

木質バイオマスガス発電は 林業再生に追い風

実効性の高い発電規模を期待

問

林業活性化する上で、可能性を秘めた、木質バイオマスガス発電企業誘致の現状をたずねる。

施政方針によると、実現可能ならば積極的に支援し、持続可能な産業として取り組むとあるが、展望、推進への意気込み、また、林業振興と住民生活にどのように寄与するかを伺いたい。

町長

木質バイオマスガス発電事業導入に関する調査と基本設計業務の※プロポーザルにて、事業可能性の調査を行ってきた。

事業化には中国電力への系統接続が、最も事業費を左右し、最終的報告に期待を寄せている。

熱利用



同規模のバイオマスガス発電施設

は、公共施設や農業ハウスでの活用を検討しているが厳しいと認識している。

問

発電の事業化が決定となれば、林業の振興と併せ、持続可能な町の事業となるよう積極的な取り組みを進める。計画している発電事業は、町及び隣接町を範囲とした原料供給を加味しての、コンパクトな発電規模の地域産業として期待をしている。

3月末に、調査審議会があるが、そこで正式に場所が発表になるのか。

企画財政課長

最終判断という形で、この日に決定をし、今後の方針を決めたい。

問

町公共施設での電力需要は、新電力が出来て契約すると、どの程度の経費節減になるかの試算はあるのか。

企画財政課長

検証すべきだが、まだ試算はしていない。

中電への系統接続が事業化のポイントだな…

議員のつぶやき



栗原 進 議員

三江線沿線 6 市町神楽大会の開催を

29年度中に開催する

問 三江線は、来年3月を以て廃線が決まり、全線開通後、40年余り沿線市町は互いに協力し合い、存続に向け、努力をしてきたところである。

各市町は、神楽の盛んなところであり、今後も交流を続けていくことを目的とした神楽大会を開催してはと考える。

町長 三江線沿線の6市町は、これまで利用促進と沿線の活性化に取り組んで来た。このつながりを今後も続けていくことは、意義のあることだと思つ。まち・ひと・しごと創生総合戦略にも、PRと交流人口の拡大、誘客促進のため神楽共演大会を、施策として掲げている。

沿線市町の社中を招き神楽大会が開催できるように取り組んで行きたい。

問 神楽大会は29年中の開催になるのか伺う。

町長 三江線は来年の3月まで



産業祭前夜祭神楽大会

では存続するので、協議をしながら沿線市町からも神楽社中を招き、開催できるよう努力したい。

定住推進課長 新年度予算に計上しているので、29年度中に開催したい。開催の方法は、これからの検討になる。

ウ:
今度は実現しそうだ
議員のつふやま

問 神楽大会は、三江線が運行している時間帯の開催が望ましい。また、多くの入場者が予想されるので会場の選定も必要と考えられるが。

定住推進課長 神楽大会は午前中から午後5時位に終る時間帯がいいのではと思う。産業祭前夜祭の神楽は、みさと館で行っているが、このホールでは狭いので会場は体育館を考えている。

問 施政方針に伝統文化の継承のため、体験や学習等の取り組みを行うとあるがどのような取り組みをするのか聞く。

教育課長 邑智小学校では、クラブ活動として取り組んでい

る。地域でも取り組みを支援していただく方もおられるので、そういった活動を、教育委員会としても支援して行きたい。

大和の社中にお世話になり、ボ

教育長 中学校では、今は、

三江線廃止後の跡地の利用は 議会や住民の意見を聞き進める

問 三江線は現在、廃線後のバスによる交通体系の見直しが検討されている。1年後には廃線となることから、跡地の利用にも取り組むべきと考えるが。

町長 跡地の利用は、沿線住民にとって関心が高く、重要な問題である。しかし、バスによる代替交通確保に向けて、早急な検討をする必要があり、跡地など廃止後の鉄道資産は、現在、協議の段階に至っていない。今後、議会や住民の意見を聞きながら検討を行って



浜原駅 地域おこし協力隊事務所

ランテニアで協力していただいている。

教育委員会としても、神楽は、将来、定住に結びつくものと考えているので、支援をさらに強化して行きたい。

定住推進課長 廃線後の跡地の利用は進展していないが、浜原駅は、地域おこし協力隊の事務所として使っている。駅舎は活用出来るのではないかと思つ。

問 町は、再生可能エネルギー、太陽光発電を推奨しているが、跡地に太陽光の発電設備を設置することが可能か伺う。

企画財政課長 太陽光発電は、個人の住宅の方に推奨している。JRの跡地にそのような設備は、現在のところ検討していない。

発電の買い取り単価が下がっており、今の時点で、その事業を取り入れるにはリスクが高いと考えている。



波多野 康博 議員

空家等対策の計画策定は

29年度に作成する

問

現在各連合自治会において空き家調査が進められているが、適当な管理のなされていない状態の空き家も多数見受けられる。

これらの空き家について、29年度から「空き家等対策計画の策定」に着手とあるが、具体的にはどのような計画策定となるのか伺う。

町長 現在各連合自治会において、空き家調査を実施している。国の基準により倒壊等の状態、衛生上の状態、景観状態などの判断により、特定空家として判定することとなり、撤去や修繕など指導・勧告・命令・固定資産税の住宅用地特例から除外、さらには行政代執行による強制撤去ができることとなっている。

空き家対策計画については、国のガイドラインにより、空き家対策の基本的な方針、対象地域、計画期間、対象とする空き家の種類、特定空家等に関する措置などを示すこととなっております。今後国の補助事業等を利用するにあたってはこの計画の策定が必須となる。

また、空き家除去の取り組みとして、大きく二つの考え方により、空き家の解体に対する補助を検討している。一つは、空き家等対策計画に基づく特定空

家を対象とするもので、二つ目は、対象を限定せず建て替える条件としたものだ。

問

空き家調査が終了して、それを基本にして空き家対策計画を策定するということが、これにより所有者の利点はあるのか。

除去する場合、所有者に勧告してもだめな場合は、強制執行をするのか。

総務課長

メリットとしては、再利用できる空き家もかなりあり、町の空き家バンクに登録し有効に活用していく。

又、特定空家は強制的に撤去等できることとなっているが、計画を策定して、所有者の確認を行い、勧告を最終的に可能となるまでの段階にはかなりの手順が必要となる。

浜原大橋から下流亀村までの

道路改良について

改良の必要性は感じている

問

浜原大橋左岸の滝原方面に向かっては、二車線で道路改良され、あけぼの大橋から上流も改良が済んでいる。

浜原大橋から下流亀村までの約500m区間は、未改良となっている。町内の目玉観光の一つ、町外から人を呼び込む施設として、「カヌーの里おおち」もあり、早急な改良が是非とも必要と考えるが計画を伺う。

町長

以前からこの箇所については、上下流の改良に併せて拡幅改良が出来ないものかと検討しているが、現況は川と急峻な山肌に挟まれた道路で、改良には大きな切り取り斜面となり工法的にも問題が大きく困難な状況であるが、改良の必要性は感じている。

問

現地は山も大変急峻で難工事となり、今すぐ新規着工はなかなか難しいとは思いますが、次期計画には是非とも組み入れてほしい。

建設課長

この区間の改良の必要性は強く感じており、今は継続事業もあり、すぐに新規着手ということは難しいが、将来的には路線名を入れて改良計画の中に入れ検討していく。



改良が望まれる町道吾郷～浜原線

道が狭いけくなく、譲り合いをしないとあぶないよ。

議員のつぶやき



福島 教次郎 議員

農業改革を進めていくには

営農連絡協議会を設立し、 経営努力の視点を高める

問 国、県等関係機関は、青色申告を勧めると同時に収入保険制度を推奨している。

この制度では、自然災害・収量減少に加え、価格低下など農業者の経営努力では避けられない収入減少が補償対象となるようだがこの制度の要件は。

町長 収入保険制度の加入資格は、青色申告を行っていることが要件であり、平成31年、制度開始と同時に、保険に加入するためには、30年の申告には、青色申告を行っていないければならない。

問 制度加入のメリット、デメリットは。

町長 制度の詳細な設計はこれからである。収入保険制度の導入と同時に、農業共済制度は、任意加入となる予定。

農家の補償に対する選択肢は増えるが、収入保険制度との重複は禁止され、ならし対策、野菜価格は安定制度も、どちらかを選択することになる。

問 収入保険制度は過去5年間の平均を参考に、本人の負担金あるいは補助金をもって、運営されるが一般農家

は、現在の農業共済制度と、収入保険制度のどちらを選択すれば良いか伺う。

産業振興課長 今までの農業共済制度は強制的な加入。収入保険制度になれば災害の補償も価格補償もある制度である。

小規模の農家に収入保険制度が必要かどうかは、農家の判断によるが収入が1000万のところ、この保険に入ろうかと思えば、約30万円の保険金をかけなくてはならないこともあり大きなメリットは無いと感ずる。



共同作業による一斉防除

問 担い手・人手不足・後継者不足のなかで29年中に美郷町独自の営農連絡協議会ができる話があったが。

町長 集落営農の連絡協議会

等の設立も視野に入れている。

県の段階、郡の段階での、研修会等もあるが、集落営農・法人化することによって、経営努力の視点、社会的に責任も増してくる。この協議会では独自の研修会等を重ねていきたい。

問 農業競争力強化プログラムの中に、農地中間管理機構による土地改良制度の見直しとあるが町としては取り組み意思はあるか。

産業振興課長 農家の負担なしに基盤整備をしていくということが報道された。町としても取り組んでいくべきと思っている。ただ、そこには集積という一つの、ハードルがあるが、圃場整備、暗渠排水、道水路の整備、など中間管理機構と相談しながら、事業の導入を図りたい。

問 平成30年度から減反の割り当てがなくなる。今までは国・県から転作割り当てがあり、米余りもそれなりに防

げていた。制限が無くなれば水稻の作付けも多くなり、米余りが生じないか不安である。町としては、ど

のような考えなのか伺う。

産業振興課長 数字は示すが、県に割り当て等はない、市場の動向を見ながら精査はしていくというのが国の考え。

島根県は、目安の面積が出た場合、今までと変わらずに町村の目標の面積を示す。農家が自由と言いつつも、目標のない米づくりということではできない。ほぼ変わらない配分を行っている。



集落営農組織の総会状況

総会のあと、恒例の反省会。この反省会で新たな「絆」が生まれる。

議員のつぶやき



岩根 和博 議員

お年寄りが突然介護が必要になった場合、施設面の充実は

施設の割合は全国や島根県の平均より高く比較的充実している

問

町長は双葉園・ハートランド双葉園など在宅介護などを行っているから、そこを利用すれば十分だと言われるが、実際に施設が足りているのか。

町長

介護保険施設は、他に比べ郡内では施設的にはそろっている。現在の状態は99・5%ぐらい達成している。町内の特別養護老人ホームとして定員50人の「双葉園」、定員30人の「ハートランド双葉園」があり郡内における施設の割合は、全国や島根県の平均より大幅に高く比較的充実している。

問

町長は施設が十分といわれるが、すぐ入れる状況か、あるいは待機されている方がいるのか。

町長

それぞれの施設にすぐに入所は出来ず、待機者がいることは承知している。

健康福祉課長

2月末現在で双葉園が60人、ハートランド双葉園が52人待機者がいる。

問

これだけの人が待機されている、この方たちは一生懸命美郷のために働き、税金を納めたが、こうした状況におかれている。また、介護保険

を使わない人が、使った人より点数が低く入所出来ないが、どう思うか。

町長

介護士不足もあるが、施設をそのために増やすことは全く計画にもない。希望が叶うよう考えたいと思う。



入所希望の多い双葉園

健康で安心できる町とは

健康寿命を伸ばし 生活の質の向上を図る

問

町長の施政方針に、「生涯を通じて健康で安心できる町」また「一人ひとりがいきいき、みんなが笑顔でつなげる健康な町」とあるが、具体的に何をどのように計画しているか。

町長

具体的には美郷町健康づくり計画の4つの柱である。
①住民主体の地区ごとの健康づくり活動。
②生涯を通じた健康づくりの推進。
③疾病の早期発見、合併症・重症化防止。
④多様な実施主体との連携の推進。

問

「美郷町健康づくり推進協議会」を中心に関係機関、関係団体等が一体的な取組を実施する。他市町からうらやまれる温水プールや、健康器具を備えたユートピア施設があるが、町民がどれだけ利用しているか。

町長

27年度の利用数は、町からの委託事業「からだスッキリ健康教室」年間22回で延べ386人。介護予防「脳とからだの健康教室」86回延べ1190人。「療育音楽健康づくり教室」166回延べ2181人。このほか町外を含む会員や水中・水泳教室など延べ2万976人で年間合計2万4733人である。

問

地域包括センターが行っている「にこにこ健

康教室」「脳と体の健康教室」「療育音楽教室」と生きがいデイサービス、ハツラッククラブなど年間で行っているが参加者数を把握しているか。

健康福祉課長

「にこにこ教室」脳と体の健康教室・ドレミの具体的な人数は、把握していないが、おおよそ1回の教室で10～15人と聞いている。

問

介護認定を受けていない人を対象として利用者が最高15人は地域全体で満遍なく行き届いている人数か。また、足が少し不自由な方が参加できるようにドアツードアで送迎をされているか。

健康福祉課長

「にこにこ教室」は各地域の農村塾・交流センター・公民館・集会所等で開催し、「脳と体の健康教室」「ドレミ」についてはユートピアで開催しているドアツードアは行っていない。

老後は
だいじょうぶかな～

議員のつぶやき



黒川 民次郎 議員

1期4年間の実績は

8割の目標達成

問

第1次長期総合計画において、1期4年間に計画された事業の目標達成はどのくらいか。

町長

第1期目は、定住、産業、雇用、集落の活性化、道路網の整備と公共交通、子育て支援と在宅福祉の充実の四つを重点方針として取り組んだ。

- ① 定住、産業、雇用対策では、定住子育て支援対策を重点テーマに美郷町定住子育てライフ5つ星の町として、住宅の新築、改修助成を行い、町内在住者向けの定住対策も講じ、消費拡大のためのプレミアム商品券、商工事業者の設備導入への支援、新規雇用への雇用促進助成のほか、新産業づくりに取り組んだ。
- ② 集落の活性化では、コミュニティ施設のみさと館や、みさと本の森の開設、美郷イノベーションとして、山くじらを地域資源としたまちづくりをした。
- ③ 道路整備も重要テーマとして、国、県とのパイプを生かし国道375号の湯抱1工区の改良工事の完了や、粕洲地内への計画実施の決定、県道川本波多線竹工区の着工をした。

公共交通対策は、町道の改良整備や、生活関連道の整備にも新たに取り組み、路線の新設やデマンド型乗合タクシー導入などを進めた。

町長

④ 子育て支援と在宅福祉の充実、保育料の軽減、減額、無料化などや在宅育児手当、子ども医療費の中学生までの無料化や、子育て支援センターの開設、また、小中学校では教室へのエアコン設置、タブレットの導入、給食費への補助の他、公営学習塾の開設などを行い、閉じこもり対策や配食サービスなどの充実、地域包括ケアの仕組みづくり、障害のある方が地域で生活ができるよう事業メニューの充実など行った。

1期目の任期中は、93の施策について、約8割の目標を達成が出来た。町政全体の進展をとらえる目安と言える。

新年度予算編成の主眼は

新たな四つの方針を重点に編成

29年度予算編成にあたり、一般会計当初予算な

ど、23議案が提出された。町長はどのようなことを主観に予算編成をしたか伺う。

町長

総合計画を踏まえた施策の展開を基本とし、新たな4つの方針を重点に予算を編成した。

- ① 方針の道路網の整備や、新産業の充実による雇用環境の充実では、町道の改良整備に加え、生活関連道路整備事業の実施、農業サポート経営体の設立、リースハウス事業、中小企業の設備更新、プレミアム商品券などに取り組む。
- ② 定住対策の促進とUIターン者の充実では、定住奨学金の新設や、定住住宅の建設、空き家対策と活用の推進。
- ③ 結婚、出産、子育て環境の充実、子育て世帯の集いの場づくりや、公募型応援事業、放課後児童クラブの充実、小中学校でのICT教育や、英語学習などの実施。
- ④ 安全で安心して暮らせる地域づくりでは、小さな拠点づくりの取り組みや、新たな公民館の設置、自主防災組織の支援などを行う。

問

国道375号長藤地内、未着工部分の改良は、

町長

危険な場所であるところを知をしているので国や県に要望を毎年のように続けている。

問

新規の工事は、どのくらいあるか。

建設課長

花の谷線、久保線を、道路改良という規模ではないが、町単独事業で行う。



改良が待たれる国道375号（長藤地内）

道路改良が進まないな

議員のつぶやき



安田 勝司 議員

新しい子育て支援策は

病後児保育を始めます

問

施政方針の中で、保育料の減額や第3子以降の無料化の実施、また低所得者及び子育て世代の経済的支援の強化を図ると述べているが、更なる強化策があるのか。

町長

子育て支援策は、保育利用料の軽減や、完全給食の実施、在宅育児手当の支給などを実施。29年度は引き続き低所得者に対し第1子から、保育利用料及び延長保育料を無料にする。

問

病後児保育の内容を伺う。

病後児保育は本年4月より、大和事務所で実施する予定。これは児童が病気やケガの回復期において、集団での保育が困難であり、かつ保護者の勤務などの都合により、家庭で保育が困難な場合で、一時的にその児童を預かる制度。

利用希望者は事前登録と前日予約が必要となり、あらかじめ大和診療所で診察を受け、安定した状態と判断された場合に限り、保護者に代わり保育士、看護師などが子供の状況や発達に合わせた看護、保育を行う。



事前登録と前日予約が必要です

利用は月曜日から金曜日の、午前8時30分から午後5時15分まで。定員は2人以内とし、対象児童は1歳から小学生まで。利用料は1時間につき150円で、1日1000円を予定している。

健康福祉課長

利用は大和地域と邑智地域ともに行える。30年度以降で邑智地域での設置を検討する。

問

子育て五つ星の町を内外の訴えるPRは。

町長

今後、看板的なものを考えていく。

「病後児」という名前がよくないな～
議員のつぶやき

三江線廃止後の管理は

JRの責任で管理するよう約束を

問

平成30年3月末の三江線廃止後の代替交通の協議が進められているが、住民にとって利便性の高い持続可能な新交通プランが間に合うのか心配している。併せて跡地問題について町長の考えを伺う。

町長

三江線廃止後の代替交通の構築は二つの協議会で検討中である。

現在1月に実施した住民アンケート、意見交換会での意見を基に、沿線を三つのエリアに分け、ルートやダイヤなどの運行計画の検討をしている。

廃線まで、あと一年だが、限られた時間の中でバスによる代替交通の構築をする。

鉄道の除草管理などの維持管理については廃止以降も、JR西日本の用地である以上は責任を持って管理してもらう必要がある。当町も窓口となる部署が必要である。

問

三江線廃止になれば①景観が悪くなる、②病害虫の温床になる、③有害鳥獣の

すみかになる、ことが心配されている。JR等への陳情をすべし。

定住推進課長

跡地問題については、沿線の各自治会の方から心配の声が上がっている。現在は具体的にどのような管理がなされるかは話が出ていない。今後、他の市町と連携しながらすすみたい。

町長

あくまでも用地はJR西日本だから、責任を持って後の管理をってもらうようJRと話をしたい。



葛と灌木に覆われた鉄道法面の管理は

防災士にユニホームを

資格取得後にユニホーム購入



佐竹 一夫 議員

問

防災士が、町内で活躍している。防災士が現場に来て、一般の方と区別がつかない。防災士の方が一生懸命やっていることが理解されていない。防災士のユニホームを購入してはどうかか。

町長

防災士は、平成24年度から地域において、防災リーダーとしての活躍が見込まれる方を対象とした防災士育成事業を実施しており、連合自治会から推薦された方に、町の防災士として、地域での自主防災活動を進めている。

現在、特定非営利活動法人日本防災士会という防災士の全

町内からの若者定住住宅への入居は特別な理由以外は公営住宅へ

問

町内には、かなりの空き住宅があるが、若者定住住宅は、今年度も計画している。これまでの例では、U・Iターン者を募集し、入居希望がない場合、町内の希望者を入居させている。若者定住住宅計画の趣旨から、町内の方は既存の住宅に入居してはどうか。

町長

現在、町内には、27戸の公営住宅がある、その内、21戸の空き室があり、今後の公営住宅運営において、必要な部屋数を検討するべきと感じている。

若者定住住宅への入居を希望される方には、入居理由など直接聞き取りをして、一概に町内

国組織があり、会員向けに防災士のユニホームが販売されている。資格取得後に、協会へ加入をし、ユニホームの購入費を連合自治会へ支援する。



在住者を若者定住住宅の対象外とすることは考えていない、特別な理由以外の場合は、積極的に公営住宅への入居を斡旋している。

子供たちが考えた美郷町の未来は 子供たちの目線で 真剣に伝えた学びを大切にしたい

問

邑智小学校の6年生が「美しき郷の未来」と題して、「おじいちゃん、おばあちゃん」が笑顔で元気な町、「江の川の活用」、「美郷町の未来について」、「地域活動の活発化」の四つの提案をしてくれた。

この提案に対し、何か考えがあるか。

町長

邑智小学校6年生の発表「美しき郷の未来」では、美郷町の現状をしっかりとらえ、子どもたちならではの具体的な提案をしてくれた。子どもたちが大変たくましく、優しく、素直に成長していることに大変感動を覚えた。

子どもたちの目線で、真剣に考えて私たちに伝えてくれた、その学びとその思いを何よりも

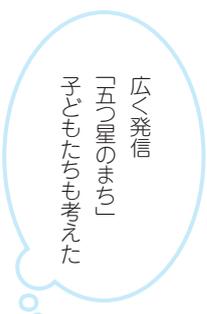
定住推進課長

元来、町外、町内どちらにも入居できる。町内の方は、若者世代の流出防止策の観点から事業開始時から目的である。

大切にしたい。

教育課長

高齢者の方々から伝えていただいた竹細工や銭太鼓であったり、おいしい野菜など子供たちが大変価値が高いものとして見ている。地域の方々が色々な面で子供たちに伝えて来たことが実ったと感じている。子供たちが小さな間に、ふるさと美郷町をしっかりとすり込むことを私たちがしていくことが大切と思う。



議員のつぶやき

QUESTION

美郷町の

農業サポート経営体って？

設立の背景

農業の担い手の高齢化や国の稲作政策の変更、農業協同組合改革の進展で将来の展望が開けないことから、当町では耕作放棄地の更なる拡大が懸念されています。

当町ではそれを克服するために、集落営農組織の設立により農地を守る活動を拡大してきました。

平成28年度までに町内で17の集落営農組織が設立され、耕作する農地は167haで町内全農家の水田面積の35%になります。

今後集落営農の新たな設立は多くを望めないこと、高齢化も進むことから、町全域をカバーする組織体を早急に設立して農地維持と農業振興を図らなければなりません。



農作業受託用の機械装備(イメージ)

設立の目的

担い手不在の農地の耕作や特殊な機械で行う農作業受託、水稲栽培の作業受託などを行い、農地の遊休化を防ぎ、農家の安心と活力ある農村風景を維持します。

また、乾田化、区画整理、施設改修など、耕作条件改善に対する事業の活用で効率の良い農地づくりを目指す。郡内では、邑南町に「アグリサポートおーなん」が平成21年4月から活動をしています。

新たな組織の概要

①法人形態は「一般社団法人」での設立を検討。

一般社団法人にする理由は事業内容に制約がない。剰余金を資産として積み立てられる。税制面で有利な点があるため。

②法人従事者の雇用計画

法人設立までは1人の専従者において経営計画の立案から設立事務を担当する。

設立後は常時雇用3人、季節雇用6人程度の雇用を計画している。

法人の行う事業

- ①水稲作業の受託
- ②JAの受託作業、育苗事業への労働力提供
- ③利用権設定による農業
- ④農家からの農作業受託(堆肥散布、畝たて等)
- ⑤直接支払い事務支援
- ⑥育苗施設空き期間の利用による営農活動
- ⑦薬草栽培(シヤクヤク等)
- ⑧生活支援に関する事業

冬季の除雪作業・灯油配達など



シヤクヤク等の薬用植物栽培が収益の柱に

経費等

農業用機械の購入費などで、7000万円を、17年度一般会計当初予算に計上

町の状況

中山間地域直接支払制度協定数集落

2期 (H21)	集落協定等	60	面積	377ha
3期 (H26)	//	54	//	334ha
4期 (H27)	//	50	//	313ha

64ha減少

耕作放棄地が
確実に
増えています。

平成29年美郷町議会 第1回 臨時会報告

予算案

■一般会計補正予算

議事録作成システムの改修費用、観光サポーター事業の助成金、2020年のパラリンピックでのカヌー競技指定強化選手支援金の各増額による補正

補正予算の状況 (単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	6,577,368	1,500	6,578,868
国民健康保険特別会計	810,026	△10,269	799,757
国民健康保険診療所特別会計	88,685	1,500	90,185

長期総合計画

前期5カ年基本計画を承認

第1回臨時会は、1月23日に招集され、全議員出席のもと補正予算案3件、一般事件案2件の提案があり、すべて原案どおり全会一致で可決・承認しました。

一般事件案

■工事請負契約の締結

リースハウス事業戸谷地区造成工事第1期（伐開・敷地造成）工事敷地造成に伴う伐開処理量の増による請負契約の変更契約先

置名土木有限会社
代表取締役 置名修二
契約金額

金 4320万円を
金 6047万3520円
に変更



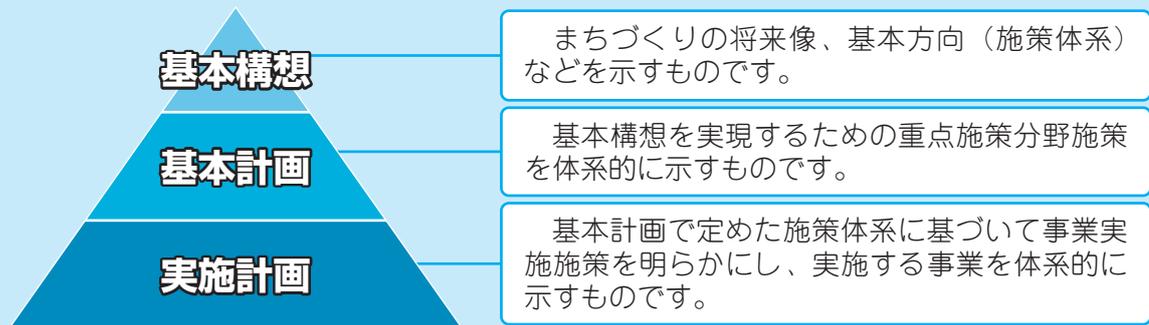
造成中のハウス建設予定地

■第2次美郷町長期総合計画について

議会基本条例の規定により、議会議決を求める第2次長期総合計画基本計画案

計画策定の構成と期間

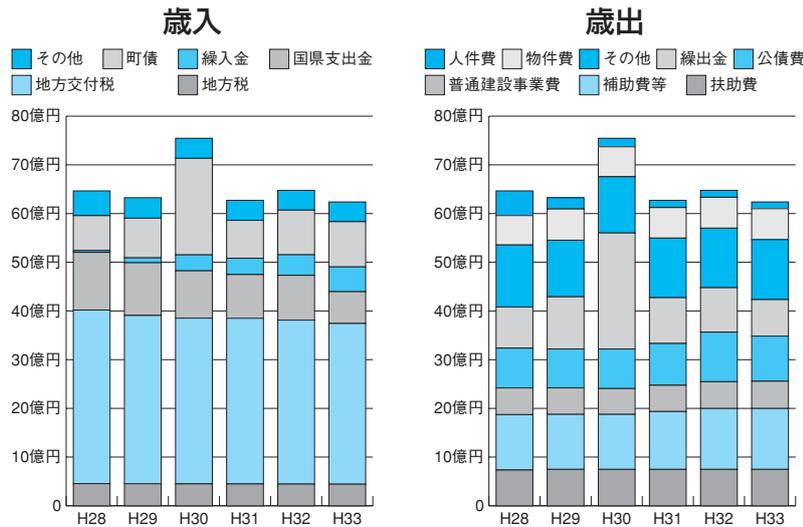
- ①基本構想
本町がめざす将来像やまちづくりの視点・基本方向を明らかにします。
- ②基本計画
基本構想を実現するための核となる重点施策及び分野別の施策を体系的に示します。
- ③実施計画
基本計画で定めた施策体系に基づき、実施する事業を明らかにします。



計画の期間 平成28年度（2016）から37年度（2025）までの10年間

28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	32年度 (2020)	33年度 (2021)	34年度 (2022)	35年度 (2023)	36年度 (2024)	37年度 (2025)
基本構想（平成28～37年度）									
前期基本計画（平成28～32年度）					後期基本計画（平成33～37年度）				

美郷町の将来の財政状況は？



総務委員会



定例会にて、委員会に付託された条例案6件を審議。条例案は人事院勧告等に基づくもので問題はなく、審議は終了した。中期財政計画平成28年から平成33年までの説明で、左記のグラフ中歳入歳出で平成30年は大和荘の改築が入っている

教育民生委員会

教育のトップランナー！ 邑智小児童 まちづくりをアイデア

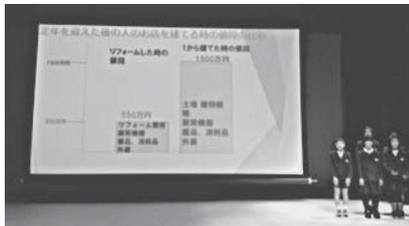
美郷町の教育は変わってきている。早くからICT教育に着目、支援をしてきた。昨年小学校を視察したとき、「ICT教育のトップランナーを目指す」と校長先生の力強い決意を聞いた。今年1月、新聞でも報道されたが邑智小学校の6年生が、タブレットを活用して美郷町のまちづくりのアイデアを4つのテーマに分け発表した。定年を迎えた人がお店を建てるとき、リフォームした方が安くできると、具体的な値段を出し

ての発表や、ふるさと祭りを行う鴨山駕籠かき大会に、ジュニアの部を設けてどうかなど、いろいろなアイデアが発表された。ネットで情報を調べ、写真と共に大きなスクリーンに表示した、高度な発表だった。

ICT教育は教師と生徒の間でのコミュニケーションや、生徒間の学習内容の共有などがより容易である。

美郷町の宝である子供たちがICT教育で大きく育ってくれることを期待して聞いていた。

※ICT教育…情報通信技術教育、情報コミュニケーション技術教育



みさと館の大スクリーンを使った立派な発表でした

産業建設委員会

テーマ サポート経営体は必要か

町内耕作放棄地を現地調査

美郷町の農地の維持管理については、農業者の高齢化や担い手不足により、耕作放棄地の拡大が大きな問題となっている。

こうしたなか、町全域をカバーする「農業サポート経営体」を設立し、担い手不足の農地の耕作や作業受託、水稲栽培などにより農地の維持を図り、持続可能な農業と活力ある郷づくりが図られようとしている。

3月8日、当委員会では、耕作放棄地の実態の調査を広域的に視察し、あらためて農地の維持管理の必要性を確認し、全町的に農地の維持管理に取り組む組織の必要性を痛感した。



圃場整備された農地が耕作放棄されている

脱 稲作農業へ

リースハウス整備状況報告 (産業建設委員会)



28棟のハウス建設が計画されている梶谷団地

平成27年度から始まったリースハウス事業は、平成28年度より「村之郷2地区」での栽培が始まっています。

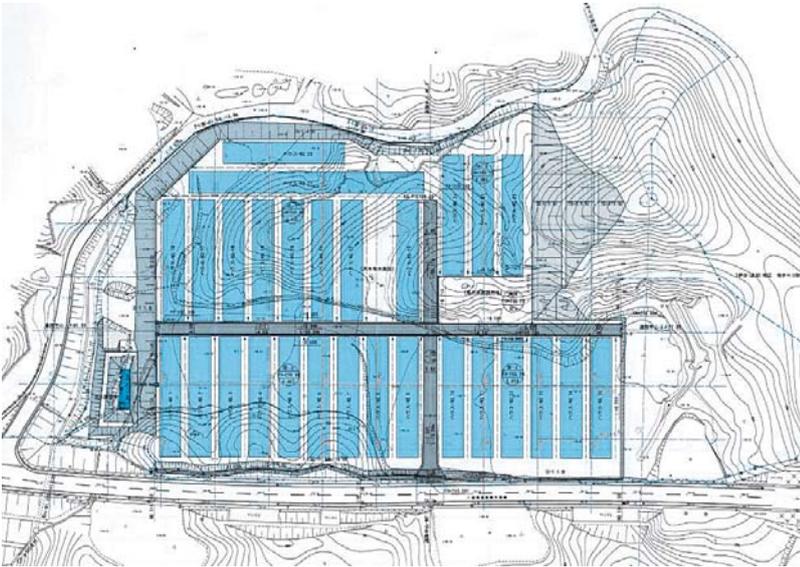
「村之郷2地区」では約10aのハウスが整備され、ミニトマト生産の28年実績は計画数量を1ト余り上回る生産量7トを超える収穫となり、売上額も計画を100万上回る、500万円余りとなったと聞いています。

一方、「梶谷地区」では28年度着工し、30年度完了を目指してリースハウスの建設が急ピッチで進んでいます。

稲作に依存しない農業

事業計画は、総事業費3億3800万円、敷地面積は2ha、ハウス(間口8m×奥行45m)28棟とスケールの大きいものです。(ハウス総面積は1haにもなる)

29年度よりのトマトの生産開始ですが、完成時



には1年を通して技術者・指導者3人、地元雇用7人程度が見込まれ、生産額5000万円を目指しています。

園芸作物の生産拡大を図るとともに、農業分野における、定住・雇用対策として始まった今後の展開に期待します。

議会活動報告 (H29年1月～3月)

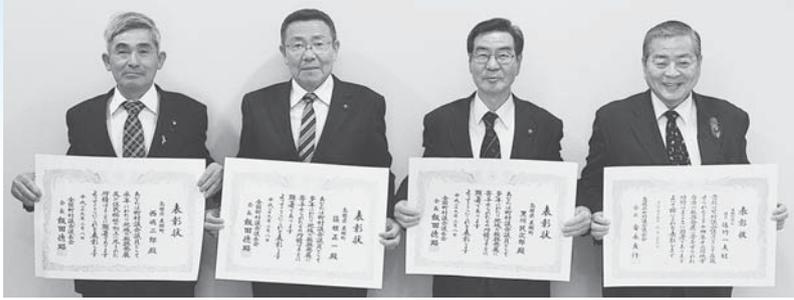
日付	活動内容	場所	日付	活動内容	場所
1月			3月		
3	平成29年美郷町成人式	美郷町(みさと館)	1	島根中央高校卒業式	川本町(島根中央高校)
4	広聴広報委員会	美郷町役場	1	美郷大学卒業式	美郷町(みさと館)
5	平成29年美郷町出初式	美郷町(みさと館)	3	広聴広報委員会	美郷町役場
6	広聴広報委員会	美郷町役場	3～16	美郷町議会第1回定例会	美郷町役場
13	広聴広報委員会	美郷町役場	5	第11回吾郷地区文化祭	美郷町
13	美郷町建設業協会新年互例会	美郷町(大和荘)	11	邑智中・大和中卒業式	美郷町
13	平成29年官公署新年祝賀会	川本町(三上旅館)	17	邑智小・大和小卒業式	美郷町
23	美郷町議会第1回臨時会	美郷町役場	18～19	関西美郷会第10回総会	大阪市
27	香川県綾川町議会視察	美郷町(美郷町役場)	24	江津邑智郡消防組合議会	江津(江津邑智郡消防組合消防本部)
27	美郷町開発公社理事会	美郷町(美郷町役場)	24	国民健康保険運営委員会	美郷町役場
2月			24	開発公社理事会	美郷町(ゴールデンユートピア)
8	全員協議会	美郷町(美郷町役場)	27	交通対策協議会	美郷町役場
8	議会運営委員会	美郷町(美郷町役場)	28	議会運営委員会	美郷町役場
21	平成28年度島根県町村議会議長会定期総会	松江市(タウンプラザしまね)	28	広聴広報委員会	美郷町役場
26	比之宮ふれあい祭り	美郷町	29	広聴広報委員会	美郷町役場
28	邑智郡公立病院組合議会定例会	邑南町(公立邑智病院)	30	広聴広報委員会	美郷町役場
28	邑智郡総合事務組合定例議会	川本町(悠々ふるさと会館)	31	広聴広報委員会	美郷町役場

続
手前味噌ですが…

長年の功績に表彰

3月25日松江市において、国・県の各町村議会議長会から、自治体功労者に対する表彰がありました。おめでとうございます。

おめでとうございます



島根県町村議会議長会長表彰
佐竹 一夫 議員 13年
在職12年以上

全国町村議会議長会長表彰
黒川 民次郎 議員 16年
在職15年以上

全国町村議会議長会長表彰
旗根 正一 議員 16年
在職16年以上

全国町村議会議長会長表彰
西嶋 二郎 議長 28年
在職27年以上

全国町村議会議長会長表彰

旗根 正一 議員 16年
在職16年以上

モニター会議で 激励の“ゴール”

先般、モニター会議を開催し、委員から様々な意見をいただきました。

「住民の声」「議員見て歩き」「編集後記」等が話題に上がり、親しみやすい紙面作りで議会への関心を高め、地域の課題や話題の共有に努めねばとの思いを新たにしました。

また、観光や産業振興に関することや、町政に関する意見も出され、活発な意見交換の場となりました。

委員から「故郷をどうしたいか？夢を語る議員になって欲しい」との励ましもいただきました。

今後、より良い議会だよりに向け、広報委員会は研鑽を重ねていきます。



活発な意見交換の様子

議会 Q&A?!

シリーズ 第6回

Q. なぜ国会のように活発な議論が交わされないの？

A. 議案の審議は、町長が議案を提案（**上程・提案説明**）した後、議員の質疑に町長が答え（**議案質疑・答弁**）、議員が賛成反対の意思を表明（**討論**）して、最後に可・否を決める（**採決**）となります。

質疑とは、議案の説明だけではわからなかったことを聞くことです。規則で、質疑は簡明にすること、議題以外に及んではいけないこと、自分の意見を言うなど内容が討論になってはならないことなどが定められています。

町議会の**討論とは**、お互いに議論を交わし合うことではなく、賛否の理由を述べることによって自分の意見に賛成・同調することを他の議員にも求めるものです。

本会議での議案審議はやや低調なものになる傾向にあります。そこで美郷町議会では、第1回の定例会から当初予算は予算決算委員会で審議することにしました。

国会中継の予算委員会のようにはなりませんが、以前より議論が活発になっていると思いますので予算決算委員会も傍聴においでください。



広がる交流の輪

沢谷地区

縁側サロン「二人静」ふたにしずか

藤間

進さん



故郷千原にUターンしてから丸10年、ゆつくり、のんびりと思っていた田舎暮らしの夢も、過疎化、高齢化が想像以上に進んでおり、隣り近所との交流もままならない中、手助けになったのが「長寿大学」や交流センターでの活動でした。

長年の空白が徐々に埋まり有意義な学びの場所でもありました。町の現状や問題点、自分何ができるのか、様々な点で美郷町を知り前向きに考えていくことが出来ました。



入り口には、かわいい「二人静」の看板が迎えてくれます

ヤマシャクヤクがありました



イチゴ大福とコーヒーのおもてなしがあります

その中で、今の私を支えている生きがいの一つとして、長寿大学で学んだ「そば打ち」があります。私の住む沢谷に「そばの花」というグループの一員に加えていただき、イベントなどでそば打ちを披露することが出来ました。

今回「みさとみちくさ日和」では、千原温泉とのコラボでそば打ち体験を実施します。初めての試みですが、楽しみにしています。

また、今一番、想いを入れているのが縁側サロン「二人静」です。美郷から何か発信をと考えています。

えた時、すばらしい自然と、長年趣味として育んできた山野草栽培を生かすことができたらと思、嫁さんの協力も得て、交流センターで教えていただいた手作りのイチゴ大福と、四季の山野草をセットにし、町内外の人たちとも交流できたらと3年前から縁側サロン「二人静」を始めました。

仕事をリタイアされた方、ご高齢のご夫婦、山野草愛好家の皆さんなど、癒しの空間と可憐で清楚な山野草の姿に、予想以上の反響があり、昨年は、春と秋の期間中延べ575人の皆様においでいただき、年々リピーターも増え、一つのイベントとして定着したのではないかと考えています。

こうして色々なことに挑戦できるのも、地域の方々のご理解とご協力、があればこそと思っています。

議会選挙の日程が決まりました

告示日 7月18日
投票日 7月23日

平成29年3月1日現在の選挙人名簿登録者

男	女	計
2,014	2,282	4,296



今年の、春の開催は4月30日まで

いつまでも続けられるかはわかりませんが、健康である限り、前を向いて進みたいと考えています。

人事

よろしくお願ひします

4月1日付で、次の職員が就任しました。

議会事務局長（出納室長）



漆谷和彦

お世話になりました

3月31日付で次の職員が退職しました。

議会事務局長（定年退職）

窪田英通

昭和51年8月採用
40年間勤務

【お詫び】

議会だよりNo.49号（平成29年1月20日発行）P.18に誤りがありました。

新たに任命された教育委員のお名前は、「芦谷修司氏」ではなく正しくは「芦矢修司氏」です。

お詫びして訂正します。

関西美郷会から50万円の寄付

3月19日、大阪市西区江戸堀の「北京料理 徐園」で開催された、関西美郷会10周年記念総会に、議員11人が参加しました。

前日の11時に役場裏の駐車場を出発。途中のサービスエリアで遅い昼食。土曜日でしたが、三連休の初日のせいか大阪に近づくとも交通渋滞に合い、田舎に比べて都会の道路事情の悪さを実感しました。



田舎の言葉がとびかい、盛り上がるテーブル

美郷町から神楽団も含めて42人、合計200人の参加で華やかに記念総会が盛大に開催されました。

総会では木村健茂会長から、10周年の記念行事として、図書館の図書購入にと50万円ものご寄付をいただきました。

会場では、猪肉の缶詰や革製品等の美郷町の産品が販売され、千原神楽団の熱演、神楽衣装の試着や会場内の鬼のネリ歩きと記念撮影。

田舎と都会に分かれて暮らしている、同じ美郷町の山河で幼年期を過ごした人々、初参加の私にやさしく接してくださいました。

最後はふるさとプレゼントの抽選、地区別の記念撮影、「ふるさと」の合唱。関西美郷会初代会長の保田さんの音頭で万歳三唱して会は無事終了しました。



木村会長から町長に目録贈呈

今回関西美郷会の役員の方々にとても暖かく迎えていただきましたが、逆の場合私たちはそれができているだろうか？

毎年、秋の産業祭のときには、関西美郷会の人たちがバスを仕立ててお見えになるが、私は自分たちの活動に時間を取られ、大阪に帰えられるバスがいつ出発したかも知らなかったことを悔いた。(後で調べると、2時30分に役場の皆さんに見送られて：「関西美郷会便り 第9号」に記載あり)



神楽衣装の重さにびっくり

広聴広報委員会

- | | | | | | |
|----|-----|----|----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 山本 | 福島 | 栗原 | 山本 | 岩根 | 藤原 |
| 貢 | 教次郎 | 進 | 幹雄 | 和博 | 修治 |



おかげさまで50号

表紙解説



沢谷三里街道に植栽された、桜並木。開花の間中は、夜はライトアップされ、幻想的な銀山街道に様変わりし、夜桜茶屋や夜神楽も共催される。

編集後記

議会だよりの区切りの発行となる、第50号を無事お届けすることが出来ました。

今回、バックナンバーをすべて、50の文字に並べ写真を撮り、過去の記事を読ませていただきました。

町政の政策論議の様子が、紙面を通して伝わり、興味深く時間を忘れて読まさせていただきました、先輩方の熱い想いを感じました。

現在、美郷町は農業・林業を核とした町づくりとして、リースハウスや再生可能エネルギーによる発電企業誘致など、先例にとられない、大胆かつ個性的な事業を選択しようとしています。

地方創生が叫ばれる中で、今、私たちは、地方が自ら考え行動し変革を起こしていくことを、町づくりの総合戦略として求められています。

議会広報の目的は、住民の議会への関心を高め、地域の課題を共有し、自治体の仕事をチエックする判断材料の提供にあります。

皆様の建設的で、多様なご意見をお聞かせください。(藤原記)